

てんのおひな祭り

— 発行所 —
 社会福祉法人一仁会
 山口県周南市大字大河内二〇九番地の二
 特別養護老人ホーム天王園
 天王園シヨートステイ
 天王園デイサービスセンター
 天王園在宅介護支援センター
 グループホーム天王園

特別養護老人ホーム

ひな祭り



三月二日は桃の節句という事で昼食はちらし寿司をはじめ、天ぷら、お刺身、デザートと普段とは違う特別メニューで、皆さんたいへん喜ばれていました。なかでも、ちらし寿司は人気があり好評でした。

午後からは『うれしいひな祭り』を皆さんで歌い、職員手作りのお

内裏さまとお雛さまの顔出しボードを付け、笑顔で写真撮影をしました。皆さんとても嬉しそうなお表情を浮かべ楽しい特別なひな祭りになったようです。

ホワイトデー

ホワイトデーには一日早い十三日に職員がラッピングしたお菓子を皆さんに配りました。男性の利用者さんから代表で手渡して頂きお互いに笑顔になり、とても微笑ましい一時でした。



演芸会

三月二十七日、御所尾原のきのこ会の皆さんが来園され、ダンスに健康体操、銭太鼓等、たくさんのお演目を披露されました。観覧の皆さんも一緒に歌ったり、身体を動かしたりで楽しい時間を過ごすことが出来ました。

最後に『ふるさと』を会場の皆さん全員で大合唱した後、松岡千代子さんが『今日は楽しい時間をありがとうございました。来年も楽しみにしています』とお礼の挨拶をされ、拍手喝采で閉幕となりました。



園外レクリエーション

三月二十七日、暖かい春の日差しを浴びながら、下松市ゆめタウンへ商業施設見学に出掛けました。店内の洋服や台所用品売り場、焼き立てのパン屋さん等に立ち寄り、目移りしながらも楽しんでおられました。普段の生活とは違う刺激も得られ、『楽しかった』ま

た行きたいね』『満開の桜には早かったけど、来週の楽しみが増えたね』等、素敵な笑顔で感想を言われていました。



ショートステイ

今月の力作

毎月、利用者さん、職員が一緒になって季節の作品を作っています。三月のテーマはお雛様で、花紙や画用紙で作った作品が皆さんの目を楽しませてくれています。

靴とばし大会

三月十日、施設のスリッパを使って、飛ばした距離を競う大会を行いました。『なかなか上手く飛ばないね〜』等と皆さん苦戦の様子でした。

見事優勝したのは兼安睦さん！おめでとうございます。



グループホーム

ひな祭り

三月三日は季節を分ける節目のそして健康をお祈りする日です。桃の花が咲く時期ということと桃の花には厄除けの意味があったこ

とから、桃の節句と呼ばれるようになったそうです。

縁起の良いとされる雛あられや白酒、ちらし寿司を頂きながら、思い出話などに花が咲きました。その後も、ひな人形作りやハマグリの絵合せなどで、日本の伝統行事を笑顔で楽しんでおられました。



デイサービスセンター

お内裏様その①

桃の節句をテーマに色選びを楽しみながら塗り絵、切り絵などに取り組んでいただきました。好きな色のマジックを塗ったひな壇に、ぼんぼん玉とスポンジと爪楊枝で作ったぼんぼりを付け、

最後にペットボトルのフタに男雛と女雛を貼って、立体感のある、そして塗られた色で雰囲気の違いをお内裏様が完成しました。

お内裏様の飾り付けも見事に出来上がり、ウグイスの鳴き声も今にも聞こえてきそうです。

お内裏様その②

手作りの衣装を身に付け、仲睦まじい福田さんご夫婦扮するお内裏様の登場に、ホール内が和やかな雰囲気になりました。



在宅介護支援センター

ランチ活動記

三月十九日、周南市介護支援専門員研修会が周南市学び・交流プラザで行われ、参加しました。内容は、公益財団法人さわやか

福祉財団戦略アドバイザーの土屋幸己氏を講師に、地域ケア会議、全方位的アセスメントについての講義、それを踏まえて実践事例について検討を行なう演習がありました。

今後、支援を必要とする人が地域でその人らしい尊厳を保持した生活を継続するためには、多職種による地域包括支援ネットワークの構築により高齢者個人に対する支援の充実をすることが必要だということでした。

3月誕生日の方々

- ☆石橋千鶴子 様 : 八十六歳
- ☆石田アツ子 様 : 八十五歳
- ☆坪倉 和子 様 : 七十九歳
- ☆藤井 節子 様 : 七十九歳
- ☆手嶋 梅子 様 : 九十八歳
- ☆浅海 丈子 様 : 八十五歳
- ☆吉村 芳子 様 : 八十二歳
- ☆松村富美子 様 : 八十歳

編集後記

三月に入り、少しずつですが暖かい日が増えてきたように感じます。それに伴い梅や菜の花等の春の花々が満開の時期を迎え始めました。四月上旬には園内の桜を愛でながらのお花見会を予定しております。皆さんお楽しみに！